

ギムノディニウム カテナータム(渦鞭毛藻)

(*Gymnodinium catenatum*)

動画



大きさ 長さ45~65 μ m、幅30~45 μ m

形態 色は茶褐色。8細胞以上の長い連鎖群体(れんさぐんたい)をつくることが多く、群体は30細胞以上に達することもある。細胞はほぼ卵形だが、前方は半球形~円錐形、後方は台形~長形状でやや角張っている。単体(1細胞)の場合、細胞がやや縦長になる。横溝は直線状で、太くて深いため、わかりやすい。細胞どうしの境界部もわかりやすい。

動き 回転しながら、ゆっくりと龍が空を飛ぶように泳ぐ。ただし、動かないことも多い。

漁業への影響：麻痺性貝毒を産生し、二枚貝を毒化させる。二枚貝を捕食するカニ類(イシガニなど)も毒化させる危険性がある。マウス試験で基準値(4MU/g)を超えると二枚貝の出荷自主規制措置が講じられる。

漁業被害：平成17年4月に英虞湾で本種が原因と推測されるヒオウギの毒化が確認された。ただし、この時のヒオウギの毒化は、英虞湾内ではなく、古和浦に避寒中に起こったものと推測されている。

発生海域：熊野灘沿岸

発生時期：3~4月頃、7~8月頃(春季および夏季)